

南京市の高齢者福祉の課題に対して必要とされる取組

以上から、コンソーシアムでは、南京市において今後必要とされる取り組みは以下であると考えている。

①啓蒙活動の展開：

認知症に関する医学的知識や認知症患者への対応方法など、日本の関連知識を一般市民や社区などの地域コミュニティへ広める日常的な啓蒙活動。

②介護体制の充実：

在宅介護家庭への介護員の訪問サービスや、重介護者でも日中通えるデイサービス・センター、家族の負担を和らげるショートステイやロングステイサービスの提供、介護ベッドや車いすなどの福祉用具の普及。手摺設置等の住宅改修への提言。

③介護要員の育成：

介護人材の教育制度・研修の充実や、資格制度の確立と奨励制度の更なる充足。

これらの内、当コンソーシアムでは、①啓蒙活動への協力②介護体制の充実に必要な介護サービスの提供③介護人材の育成に関し、南京市に貢献できると考えている。③については、南京市及び雨花台区の民政局より安居福仁に対し、「人材育成ノウハウの提供と、南京市内の看護・介護の専門校での資格制度に対し、アドバイザー的立場で参画して欲しい」旨の依頼があり、教育制度と資格制度構築に関して寄与できると考えている。